

2014年10月27日
三井化学株式会社

新しいメガネレンズ用材料「UV+420cut™」販売開始

三井化学株式会社(社長:淡輪 敏)は、紫外光(10-400nm)に加え、より可視光側の400-420nmの波長光の暴露からも目の健康を守るレンズ用材料「UV+420cut™」を開発し、10月より販売を開始しましたのでお知らせします。



ラインナップ:

屈折率 1.67、1.74 のレンズ用材料から販売を開始

我々の目は常に太陽光からのダメージに晒されており、紫外光(UV)から目を守ることの重要性は広く知られています。しかしながら、最近の研究で、400-420nmの短波長光も、眼組織中で最も脆弱な網膜組織にダメージを与え、白内障や加齢黄斑変性の要因となり得ることが指摘されています。この波長光は、従来サングラスでは一部カットされていましたが、一般の視力矯正メガネのレンズでは400nmまでしかカットされていませんでした。今般当社は、400-420nmをカットし、目の健康を守る「UV+420cut™」を開発しました。

この技術は東海光学(株)様の新製品「ルティーナ®」に活用されています。

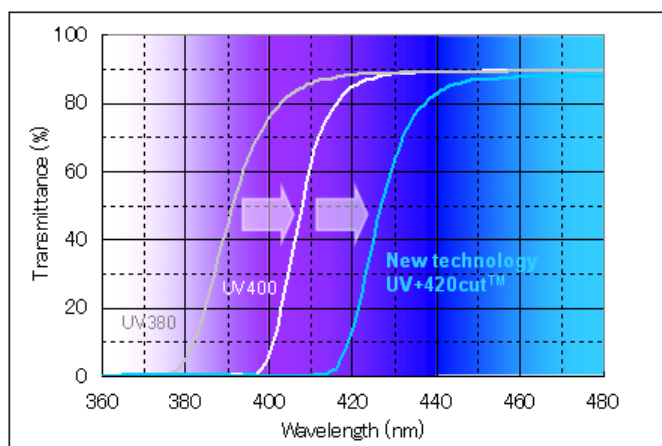


図1) “UV+420cut™”は、従来のUVに加え、400nm-420nmの波長光もブロックする。

当社グループは、グローバルに多様化するニーズにお応えするため、多種機能を有する低屈折率から高屈折率までの幅広いメガネレンズ材料と、それぞれのレンズに機能を付与するコーティング材料を供給しています。今後も、ビジョンケア材料の更なる高機能・高付加価値化を目指し、皆様にご提案、ご提供していきます。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 IR・広報部 TEL 03-6253-2100